

国際シンポジウム in TOKYO

「健康の社会的決定要因」を巡る国際的動向

“World trends in research of social determinants of health”

世界保健機関(WHO)は、「健康の社会的決定要因 social determinants of health」(SDH)に関する委員会を2005年に立ち上げ、WHO 神戸センターはそれを受けて2009年にUrban HEARTを開発しました。2009年にはWHO 総会が健康の社会的決定要因の重要性と対応を加盟諸国に求める決議を採択し、今年10月にはSDH対策の動きを加速するための世界会議を開催するなど、世界は動きだしています。

一方、わが国では、厚生労働科学研究補助金によって高齢者におけるHEARTの開発研究の試みなどがなされていますが、SDHの重要性やこのような世界の動きが一部の人にしか知られていません。しかしSDHは、今年の日本公衆衛生学会・社会政策学会のメインテーマや、2012年厚生労働省科学研究補助金指定研究の主要エリアとして設定されており、日本の学界・政界はSDHに目を向け始めています。

そこで、本シンポジウムでは、本研究センターと研究協定を結んでいるハーバード大学公衆衛生大学院のKawachi教授に、SDHの国際比較研究を中心に、世界でSDHがなぜ注目されているのかをお話いただきます。また、各報告者からWHOの国際会議の内容やUrban HEARTの開発、J-AGES HEARTの試みについて発表していただき、これらを材料に日本におけるSDHを巡る今後の課題を探ります。

2011年12月23日(金・祝) 午前10時～午後4時(予定)

アルカディア市ヶ谷(私学会館) 鳳凰(4階)

シンポジスト

Debbie Gray (WHO 西太平洋事務局)

————— 「健康の社会的決定要因に対するWHOのアクション」
“WHO Actions on Social Determinants of Health”

Ichiro Kawachi (ハーバード大学公衆衛生大学院教授)

————— 「健康の社会的決定要因への投資—今こそ行動の時」
“Investing in the Social Determinants of Health—An Idea Whose Time Has Come.”

狩野 恵美 (WHO 神戸センター)

————— 「都市における健康の社会的決定要因への国際的取り組み」
“Global Efforts to Address the Social Determinants of Health in Urban Settings”

近藤 克則 (日本福祉大学社会福祉学部教授／健康社会研究センター長)

————— 「J-AGES HEARTの開発経過と課題」
“Development of a benchmark system for measures to prevent the need for long-term care: J-AGES Project”



【連絡・申込先】

日本福祉大学健康社会研究センター

Tel: 052-242-3074 Fax: 052-242-3076

k-manami@n-fukushi.ac.jp (担当: 泉)